国土交通省
関東地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau.
Press Release

水資源機構

令和７年９月１日
国土交通省関東地方整備局河川部
独立行政法人　水資源機構

利根川水系及び荒川水系のダム等の現状についてお知らせします

～少雨、猛暑の中、毎日ダム等からの用水補給が続いています～

関東地方１都５県の水源となっている利根川水系及び荒川水系では、本年６月から降水量の少ない状態が続いています。これに伴い、河川の流量も減少していることから、農業用水や都市用水等に必要な水量を補うために、ダム等から多くの放流を行う日が続いています。利根川水系及び荒川水系のダム等の貯水量は、すでに過去の平均を下回っており、その中でも利根川本川の９ダム合計の貯水率は５０％を下回っている状況です。

今後は、農業用水などの水需要が、だんだんと減少していく時期を迎えますが、猛暑が続く特異な気象状況であることを踏まえ、ダム等を管理する関東地方整備局及び水資源機構では、引き続き慎重に水運用を行って参ります。

なお、ダムに貯留された水資源には限りがあります。皆さま方の日頃からの節水に感謝申し上げるとともに、今後も引き続きのご協力をお願いします。

《９月１日０時　ダム等の貯水状況》

利根川９ダム合計　貯水量　１６,４３９万㎥、貯水率４５％（過去平均の６２％）

鬼怒川４ダム合計　貯水量　１０,０２４万㎥、貯水率７１％（過去平均の８５％）

荒川４ダム合計　貯水量　５,２３７万㎥、貯水率８０％（過去平均の８５％）

＜発表記者クラブ＞　竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ 東京都庁記者クラブ 千葉県政記者会 茨城県政記者クラブ 栃木県政記者クラブ 刀水クラブ･テレビ記者会 水資源記者クラブ

＜問い合わせ先＞
関東地方整備局 河川部 電話：０４８－６０１－３１５１（代表） FAX：０４８－６００－１３７９
河川環境課　課長　藤原（ふじわら）　（内線：３６５１）
建設専門官　田島（たじま）　（内線：３６５２）
水資源機構　電話：０４８－６００－６５４３（直通）
危機管理監付 課長補佐　鈴木（すずき）

利根川水系及び荒川水系のダム等の現状について

令和７年９月１日

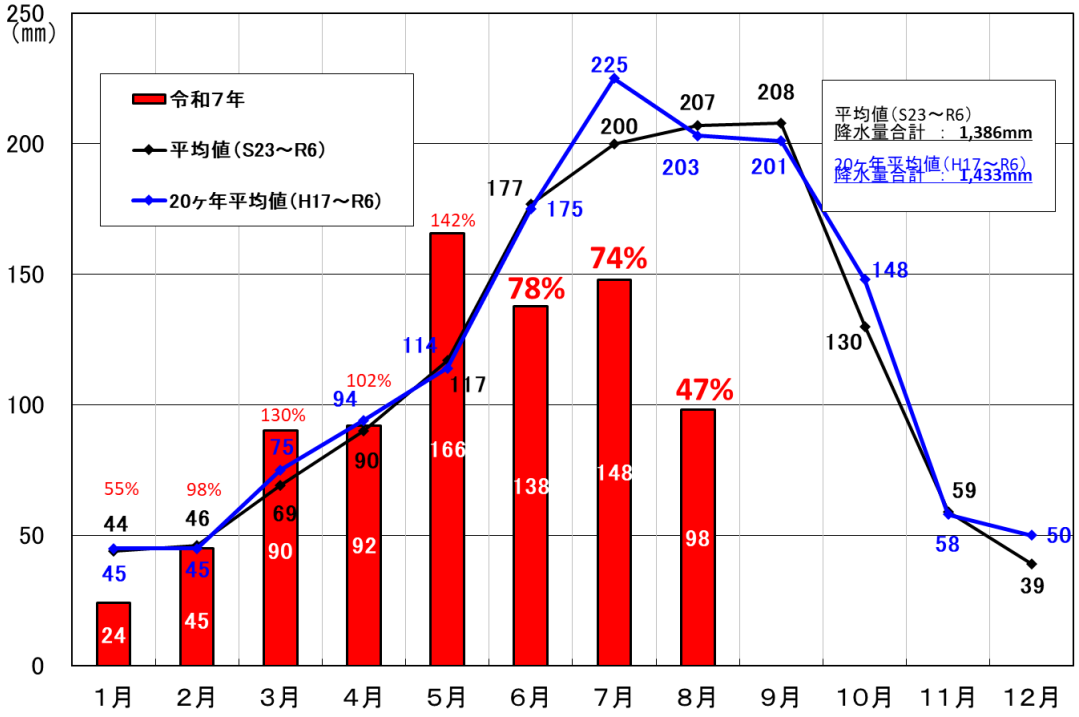
関 東 地 方 整 備 局

１．利根川上流９ダム等の現状

（１）利根川

１）栗橋地点上流域平均降水量の状況（令和７年９月１日０時までの降水量）

（図－１参照）

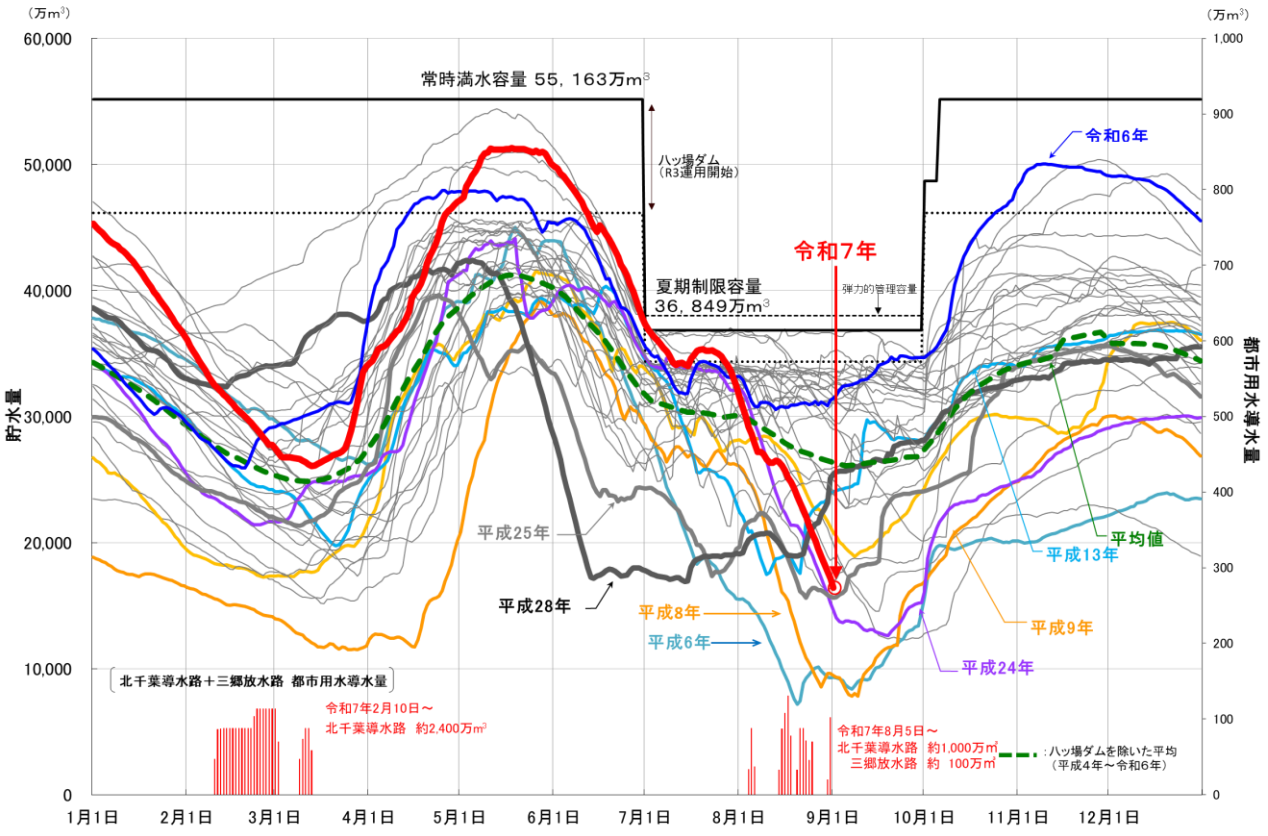


図－１　利根川栗橋地点上流域平均降水量（令和７年９月１日０時まで）

２）利根川上流９ダムの貯水状況等（令和７年９月１日０時現在）

９月１日０時時点の合計貯水量は 16,439 万 m3（貯水率 45%）となっています。

（図－２参照）

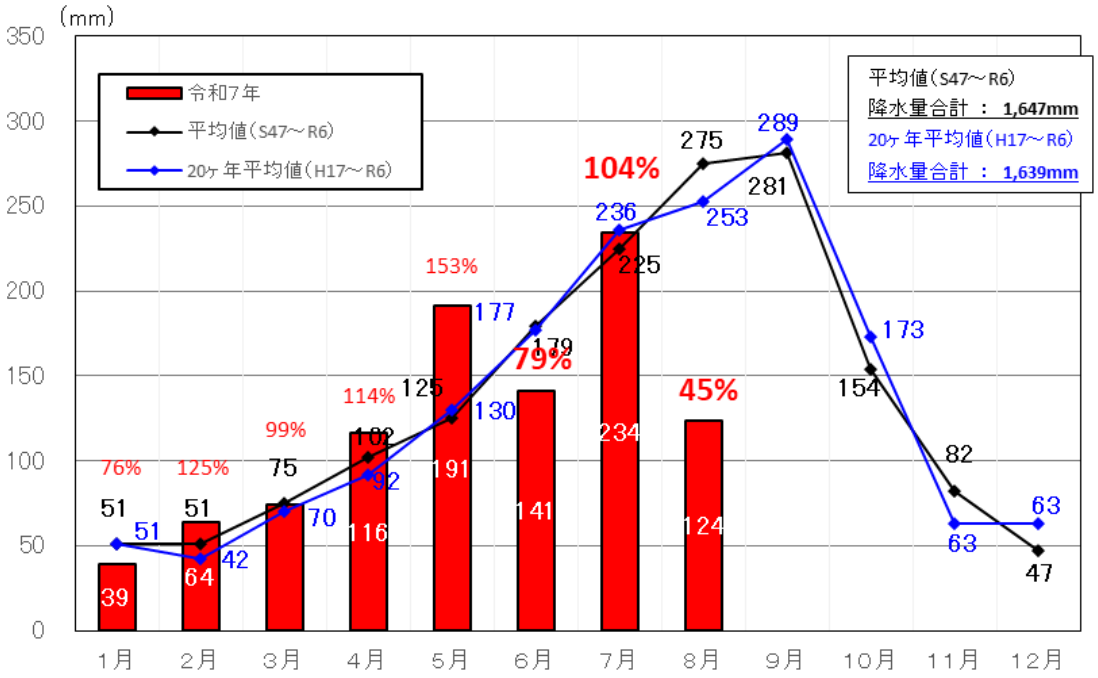


図－２　利根川上流９ダム貯水容量図（令和７年９月１日０時現在）

（２）鬼怒川

１）佐貫地点上流域平均降水量の状況（令和７年９月１日０時までの降水量）

（図－３参照）

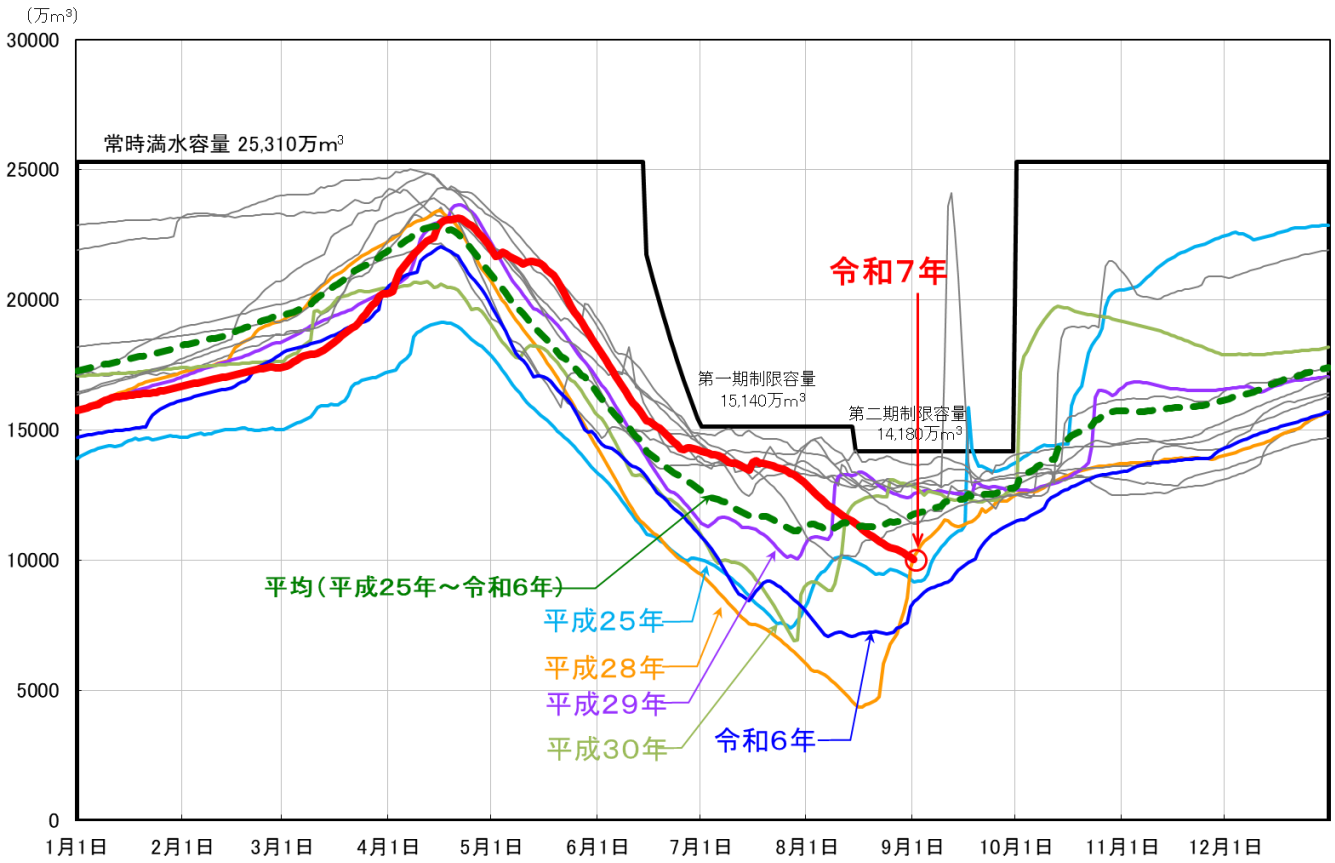


図－３　鬼怒川佐貫地点上流域平均降水量（令和７年９月１日０時まで）

２）鬼怒川上流４ダムの貯水状況等（令和７年９月１日０時現在）

９月１日０時時点の合計貯水量は 10,024 万 m3（貯水率 71%）となっています。

（図－４参照）

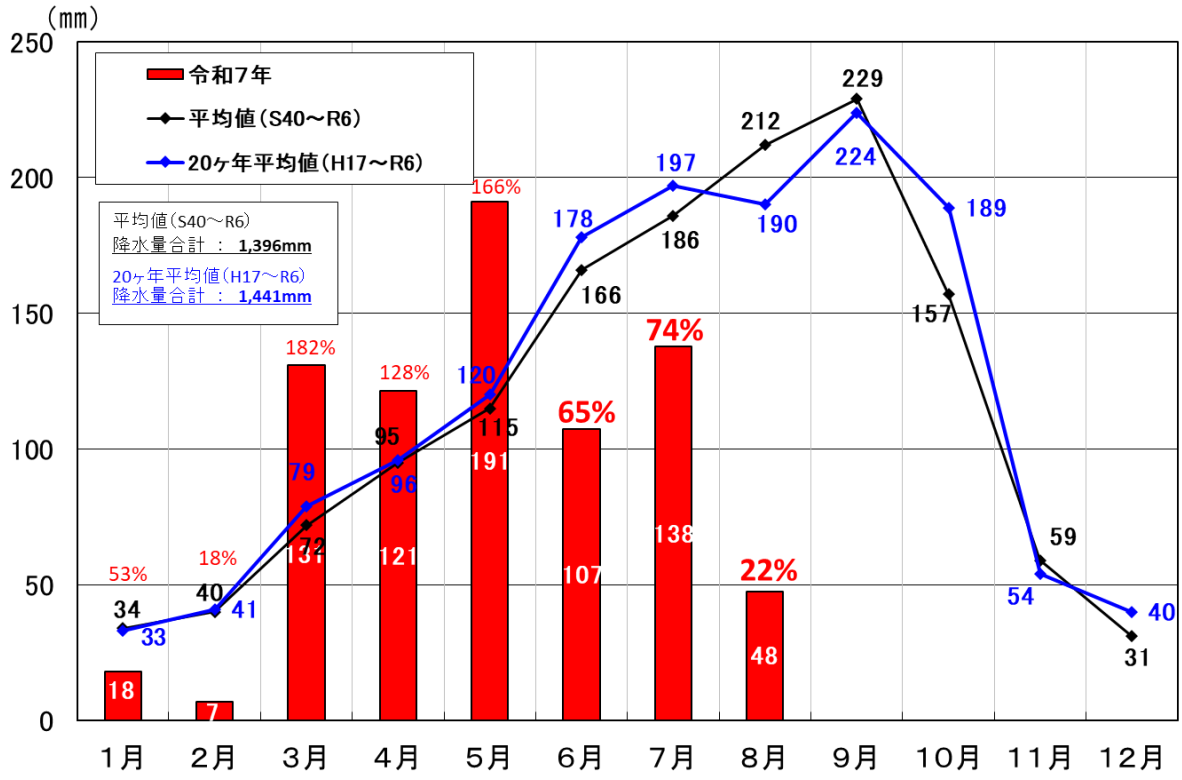


図－４　鬼怒川上流４ダム貯水容量図（令和７年９月１日０時現在）

（３）荒川

１）秋ヶ瀬地点上流域平均降水量の状況（令和７年９月１日０時現在）

（図－５参照）

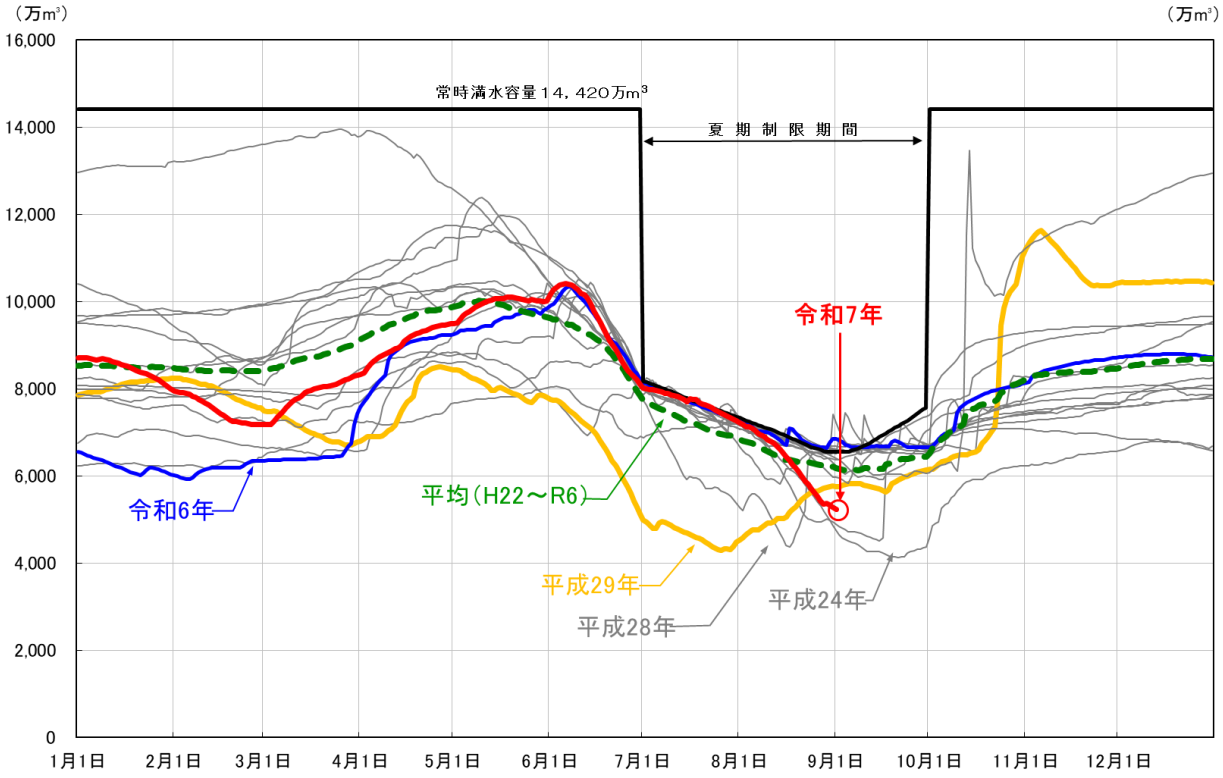


図－５　荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量（令和７年９月１日０時まで）

２）荒川上流４ダムの貯水状況等（令和７年９月１日０時現在）

９月１日０時時点の合計貯水量は 5,237 万 m3（貯水率 80%）となっています。

（図－６参照）



図－６　荒川上流４ダム貯水容量図（令和７年９月１日０時現在）